



全国高専体育大会優勝（前列向かって左から渋谷君、八井君、田中君、岩村君  
後列向かって左から広田君、福山君、立石君、城戸君、平田さん）

目 次	
学生諸君へ（校長 高松康生）	2
第30回入学式	3
特集 座談会	
学校週5日制を中心に（保護者の立場から）	4
夏期実習	7
研修旅行	8
留学生・ざくばらんトーク	10
シリーズ「研究室訪問」	12
卒業生の大学生活紹介	14
卒業生の活躍状況	15
九州地区高専体育大会	16
全国高専体育大会	17
シリーズ「人物・いま」	18
クラブ所属学生表彰者	19
公開講座	20
研究者としてのスタート地点に立って	21
学生会だより	22
学寮だより	23
シリーズ「クラブ紹介」	24
四高専吹奏楽部合同演奏会	25
英語弁論大会	25
学生表彰・資格試験等合格者	26
シリーズ「中学校訪問」	27
退官された方々の近況紹介	28
新任教職員紹介	30
トピックス	31
行事予定	32
編集後記	32

# 学生諸君へ

校長 高松康生



本校に来てすでに5か月を越え、学生諸君には何度も機会を得て折々の話をしてきましたが、紙面上ではこれが最初ですので、着任時に立ち返った気持ちで改めて一言述べたいと思います。

工業高等専門学校は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」という学校教育法の定めによって、わが国の工業技術の担い手となる基礎理論に立脚した実践的技術者を育成するための高等教育機関として、昭和37年から設置が始まり、以来今年で30年になります。この間、学問や技術の進展、産業構造の変化など、高専を取り巻く社会情勢は大きく変わり、それに伴って技術者に課せられる任務も、一言で言えばそれまでの人の「わざ」を対象とする技術から、機械や装置の「わざ」を対象とする技術へとその質が変わりました。その結果、高専の教育においても、人の「わざ」の何たるかを技術者に体得させる意味での実習といったものは、その必要性が薄れました。ただし、ここで勘違いしないで欲しいのは、教育課程としての実習や実験の必要性が薄れたのではなくないということです。

技術の進歩はその中心的部分を新しい発想や学理の展開に負っていますが、どのような理論も発想もそれを「もの」として実体化することによって、初

めて産業の対象として社会的な価値が生み出されるのであり、その実体化こそが実践的技術者の仕事であります。その際、うまく「もの」を作り、それをうまく使いこなすには、その過程で遭遇する多くの複雑で多様な問題をうまく処理し解決していくことが必要で、そのような問題解決能力は、さまざまな事象に接して、それを調べ追究する体験の中で培われます。それゆえ、実習や実験といった体験的学習の重要性は、学問や技術がどのように変わろうとも常に変わることがないのです。

ところで、高専における5年間の生活は、諸君にとって専門の学芸の修得だけでなく、人間形成の上でも大切な時期であります。諸君はやがて社会に出て技術者として働くわけですが、それは一人の人間として社会に参加することでもあります。ですから、5年間技術者としての問題解決能力の涵養に努めると同時に、人間として魅力ある人物に成長する努力を怠らないでください。専門と違ういろいろな学問や文化にも積極的に興味を示し、楽しみながら自分自身の幅を広げるとともに、常に自分を含めた人の生き方について考える人間になってください。現代はもはや技術が社会から遊離しては存在し得ない時代です。技術上の問題に対しても、常に広く社会的な視野に立って判断できる力を身につけておくことが今からの技術者にはぜひ必要です。

高専生は受験勉強がないという有利さを、技術者としての能力涵養と人間形成の上に生かしていくべきと人間的に魅力ある個性的な技術者が育ってくれるに違いないと信じています。諸君の高専生活が探究心と向上心に満ちた緊張感に溢れるものであることを心から願ってやみません。

# 第30回 入学式式辞

平成4年4月9日

校長 高松康生

たゆまぬ努力と精進が実を結び、難関を突破して本日の入学式に出席されている199名の新入生と12名の編入学生の皆さん、皆さんの栄えある入学を心から慶び、衷心よりお祝いを申し上げます。また、本日の皆さん方の慶びは独りあなたの方だけのものではなく、今まで皆さんを支え、導いてこられた御家族や出身校の先生方のお慶びでもあると存じます。ここに、これらの方々にも私どものお祝いの気持ちをお伝えするとともに、皆さん方を本校にお送りくださったことに対してお礼を申し上げたいと思います。



さて、いま皆さんには、今日から始まる本校での学生生活への期待と希望に胸をふくらませておられることだと思います。ご承知のように、本校は工業の各分野を専門とする実践的技術者になることを将来の道として選んだ若者達に、必要な工学的知識と技術的能力を身につけてもらうために、国によって昭和38年に設置された高等教育機関であります。したがって当然のことながら、それぞれの専門分野に関する基礎科目的教育と、それに付随した実験や学習が、学校での教育の最も大きな部分を占めることになります。これらをしっかりと身につけることが、優れた専門技術者になるための必要条件であることは申しまでもありません。

しかしながら、工業技術は科学的知識を人間の生活に役立てることを役割としていますから、その在り方は時代時代の人々の生き方や人間の持つ価値観と深いかかわりを持っています。したがって、技術者にはいかなる技術や製品が人類に真に必要かを時

代に立って正しく判断する力が求められ、ひいては深い専門的知識や高い技術的能力だけでなく、社会人として広い視野を持ち、豊かな文化的な素養を身につけておくことが要求されます。さらに、そのような精神をしっかりと支え、高い技術力を存分に発揮させることのできる健康な身体を持つことが、技術者としてのもう一つの要件であります。

これらのことから、高専では専門科目に加えて、国語、社会、数学、理科、保健体育、芸術、外国語のほか、人文、社会、自然科学に関する教育が行われますが、皆さんはそれらに止まらず、自分でいろいろな書物を読んで教養を高める努力を忘れないでください。

また、これらの正課教育に加えて、学生によって自主的に運営される体育系及び文化系の学生会活動が課外活動として行われていますが、これらにも積極的に取組んでいかれるよう期待しています。

喧騒な市街の中心地を離れ、東に高く小岱山の緑を控え、西に遠く有明海を望む自然に恵まれたこの萩尾台のキャンパスは、皆さんのがこれから数年間、学問と技術の研鑽に励み、美しい心と健やかな身体を育むには誠にふさわしい環境であります。高等教育機関に入学した本日ただいまから、皆さんは生徒から学生になったのです。先生の導きにただ従うだけでなく、自主的に自己形成に取組んで行かねばなりません。どうか、じっくりと根気強く日常の研鑽を重ね、着実に基礎から積み上げられた学力と技術力を皆さんのが内に蓄えるよう努力してください。

さらに、学生時代は人との心の交流が一番純粹にできる時期です。先生方との信頼、友達との友情を深めながら、一日一日を感激を持って有意義に過ごしてください。

最後に皆さんのが輝かしい高専生活のスタートに当たって、本校の学生としての誇りと自覚を持って、積極的な悔いのない学生生活を送られることを願って式辞といたします。

## 特集

# 学校週5日制を中心に —保護者の立場から—



■出席者／増田 一夫（後援会会长）

上田 洋（後援会監事）・東川 弘（後援会監事）

平田 芳子（後援会理事）・江頭 信次（後援会理事）

■司会／瀬戸 洋（教務主事）

**瀬戸** 本日はお忙しいなかをお集まりいただきありがとうございます。保護者のなまのお声をお聞きする機会がなかなかございませんので、このような企画を考えてみました。日頃、学校に対してお感じになっていることを率直に述べていただければと思います。手始めに、本年度から導入された週5日制についての感想をおひとつお話し願えませんでしょうか。

**増田** 生活のパターンが家族のなかで本人だけ違うので、多少まだ戸惑っています。土曜日、寝ていたりすると、いまでもつい起こしてしまうことがあります。



**東川** 私は違和感なく受け入れることができました。ただ、私がつねづね子供に言っているのは、今年から8限目の日が何日かあるわけだから、体力と気力の充実をこれまで以上にはかれということです。クラブ活動の面から言えば、週5日制は都合がいいようです。

**上田** 私のところは、自分たちが夫婦とも必ずしも土曜日休みではないので、子供だけ休んでいるのにまだなじめないです。このあいだ、子供に週5

日制をどう思うか訊ねてみましたが、良かった点は、レポートや製図の遅れを連休でとり戻せるようになったということでした。それから、定期試験のとき、連休がはいるようになりずいぶん楽だとも言っていました。悪かった点は、100分授業が導入されたが、まだ慣れないせいもあって、100分間、集中力が持続せず、つい私語をしたりよそ見したりが増えたこと。チャイムのときはまだしも、ブザーのときは、先生が早く来られたり、遅く来られたりまちまちで対応に困るということでした。それから、図書館や電算室がほとんど利用できなくなったということも挙げていました。土曜日、開館してあるといつても、休日にわざわざ学校に出かける気になれないそうです。

**江頭** うちの子供は高専が週5日制であるという前提で受験しましたので、連休を計画的に過ごしています。



**平田** うちは女の子ですが、現在の100分体制はトイレタイムに苦労するということでした。それから、6日間でやっていた36単位を5日間でやるのはかなりハードなようです。ただ、全般的には、本人は私たちより抵抗なく週5日制を受け入れているように

見受けます。土曜は半日、クラブの練習をしますが、これは生活のリズムの面からも非常にいいようです。練習がないときなど文字どおり朝から晩まで寝ています。

**増田** 今までの話を聞いていると、100分は集中力が続かないとか、8限目はきついとかという意見がでていますが、私が思いますに、連休より水曜か木曜に休んだら良いのではとも考えるのですが、休みは土曜でなければいけないという決まりでもあるのでしょうか。

**瀬戸** それはないと思います。

**東川** 私は月のうち2日だけ土曜が休みなのですが、連休の前になると、どうしてもこれだけは今週中にしておかなければという気持になって、生産性はあるようです。そういう意味で、連休に賛成なのですが、子供から見た場合はどうなのでしょう。

**平田** 人間には仕事を一氣にしてしまうタイプと中で休みをとつてやるタイプといでの、連休がいいか、中で休むがいいかは一概に決められないのではないかでしょうか。

**上田** 仕事の関係で大手の自動車会社の若い人たちとよく会いますが、その人たちの話によると、会社は、残業はするな、俸給出勤は止めよと言ひながら、ノルマはちゃんと与えられているので、どうしても自分なりのスケジュールを決めてやっていくしかないということです。学生も先生から一方的に与えられるのをやるだけよりも、自分の計画性をもつてやる時間があった方が良いように思います。それが土曜がいいのか水曜がいいのかは別にして。



**東川** 同感です。週5日制を生かすも殺すも本人の気持ひとつだと思います。要は、目的意識をもって週休2日を有効利用することです。



**江頭** 就労にしても、就学にしても週休2日制は世界の大きな流れではないでしょうか。民間の立場からいうと、なんで国家公務員が先なんだという思いはありますか、まず国家公務員が先鞭をつけないと地方公共団体がいかない。地方公共団体がいかないと民間もいけないという図式があるので、国家公務員が良くも悪くもリーダーシップをとらざるをえないのでしょうか。

それはそれとして、別な件ですが、私が高専に魅かれるのは管理教育を標榜しないところです。強制的な管理はしないかわりに、自分でコントロールできないのであれば、あなたは向きませんよということでお、チャンスは与えるけど管理はしない。それに対し、チャンスにくらいついて、それをいかに生かすかが学生の側にある。ただ、1年生の親としては、カリキュラムにもう少し余裕はとれなかったんだろうかという気がします。聞くところによると、2年生以上には10単位のはばがあるということです。その点、1年生は1科目でも落とすとアウトというのは厳しすぎる気がします。1科目でも50点以下をとつたら駄目だということで、子供たちは必死です。その緊張感はすごいものがあります。

**瀬戸** 形のうえではたしかにおっしゃるとおりですが、一定の条件を満たした学生には再試験の機会を与えることにしていますので、言われるほど厳しくはないと思っているのですが。

**江頭** いや、やはり、167単位開講して、すべて修得せよというのは厳しすぎると思います。子供に逃げ場がない。大学ほどではないにしても、もう少しゆとりが欲しいですね。

**増田** 私が行った大学は、3年生まで卒業に要する単位はすべて取ることができます。そこまでは

望まないまでも、やはり余裕があった方がいいのはたしかでしょうね。

江頭 もうひとつ言わせてもらえば、5年間で使える人間をということで、授業科目が工学一色になっているが、もう少しバイオなど幅広く科目が履修できると良いと思います。それから、15才で将来の針路が決まってしまうのは、子供がちょっとかわいそうな気もします。そういう意味で、転科などもふくめて、柔軟な対応ができるようにしてもらえたるにあります。

瀬戸 転科については、検討課題にはなっています。増田 自分の無知をさらすようでお恥ずかしいのですが、進学のことでは苦労しました。本屋に行っても、帰国子女の編入案内はあるのに、高専からの編入についての本は1冊もないし、1行の説明もない。子供にきいても要領を得ない。学校からも具体的情報が一切はいってこない。非常に困りました。

江頭 10,000人くらい卒業して、13%くらい進学しているようですが、入学できる率は高いと聞いています。

増田 竹村前校長もさかんに、普通高校より高専からの方が進学しやすいですよ、と言っておられました。ところが、実は私は、編入試験も一般の大学入試と同じで、1月か2月にあるものだと思っていました。だから、もし失敗したら、就職もできないのではないかと考え二の足を踏んでいたのです。それくらいの知識しかなかったのです。

江頭 子供たちに進学の説明会など、学校ではしておられないですか。

瀬戸 個々の形ではしていますが、学校としてまとまった形ではしていません。



江頭 そういうものをやってもらえるとありがたいですね。

増田 ただ、進学をあまりあおるのは、高専の特質をそこなうことになり考えものだとは思います。高専はあくまで完成教育を目指して出発した学校だし、受験戦争の風が吹かないところが高専の良さでしょうから。

平田 高専のあるべき姿を考えて、学校側もあまりPRをされないのかもしれませんね。



増田 だから、あまりあおることなく、ただし、情報の欲しい人に与えるということで、進学を希望する学生や父兄にだけは説明の場をもうけるくらいがいいのかもしれません。

瀬戸 進学の件はひとつ検討させてください。ちなみに、この場を借りて説明しますと、試験はほとんど6月から9月にあり、失敗しても就職するに遅くありませんし、複数受験できるのも魅力です。現在、ほとんどの国立大学が高専からの編入を受け入れ、その募集要項も学校あてに送ってきています。紛失も考えて、一括して教務係においてありますので、興味のある学生は見に来ているようですが、御指摘のとおり、PR不足はいなめないし、情報提供が十分でなかったのはたしかですから、今後、検討していくたいと思います。

本日は貴重な意見をほんとうにありがとうございました。

# 夏期実習



## FUJITSUで学んだこと

4I 相島三和



## 技術者としての誇りと自覚

4C 中島康宏

7月13日より9日間、富士通(株)川崎工場で実習を行った。ここは国内、海外にたくさん事業所をもつ富士通の本社工場にあたる所で、電子部品から通信機器、大型コンピュータまでの製造を行っている。

私はハードウェアの開発部門に配属され、高速の信号を伝えるための電気特性についての実験を行った。この実験は携帯電話の開発のための重要な資料となるものである。その結果を業務に採用していただき、一つの仕事をやったという満足感で一杯であった。

私が配属された開発部門は、未知の事がらの研究も活発に行われており、材料一つとってもいろいろな方向からの評価を行い、その評価をもとに新しい製品ができていることを知らされた。

また富士通では女性技術者の数は意外に多く、大きな仕事を任されて活躍しており、女性技術者の働く環境もずっと良く改善されてきていることを知った。

短い9日間であったが、大きな組織の中で働く社会人の厳しさを身をもって感じ、残る学生生活において、専門教科の勉強を充実させることが社会への第一歩となることを感じさせられた実習であった。

最後に丁寧に指導していただいた開発課の皆さんに心よりお礼申し上げます。

私は、世界最小のトランジスタ製造で知られるアポロ電子(株)で2週間の実習を行った。ここでは抵抗器、コンデンサ、トランジスタなどのS.M.T.対応製品を手掛けており、日本の4割のトランジスタはここで生産されている。最初の1週間は、チリ1つ許されない、厳重な管理の下での製造を目的にしてきた。ウェハーを切り込むダイシング工程では、ミクロン単位の精度が要求され、品質に直接関与するだけに工場も一番力を入れているラインであった。

今回の実習で得たものは、トランジスタの知識だけでなく、企業とはどういった雰囲気を持ち、どのような仕事をやるのか、ということも学び取った。私が配属された技術一課では、増設プラントから設計図を描くことまで、いろんな仕事をこなさなければならず、知識以外のことでもいろいろと要求されてくる。社会に出て自分の仕事を持てば、いろんな責任が生じてくるが、この責任を持てる、又は果たせる人でなければならない。企業は学校の延長ではなく、一人一人が技術者としての誇りと自覚を持つことが、大切だと感じた。今回の実習で学び取り、考えさせられたことはたくさんあり、大変自分にプラスとなった。ここで得た経験を今後に生かしていくと思う。

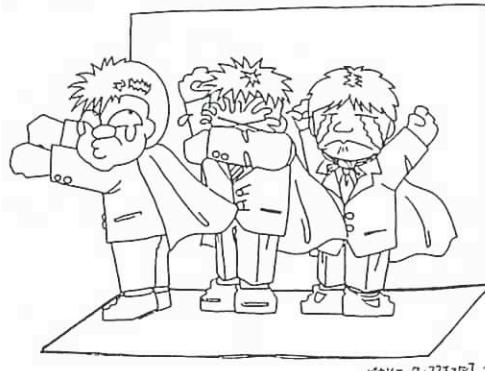
## すばらしい研修旅行

4M 篠原篤史

高専生活の中の有数のビッグイベントである4年の研修旅行が終わりました。3泊4日という期間は、始まるまでは、けっこう長い時間に思われたけれど、終わってしまうと本当にあつという間だったように思えます。だれもがせめてもう1日あればと思ったにちがいなでしよう。

さて本題である会社見学は、三菱重工業航空宇宙システム製作所、ミノルタ、トヨタ自動車の3社をまわったけれど、どの会社も主製品が違うので独自の生産方法を見ることができ、とても満足でした。その中で特に興味を持ったのがミノルタのカメラでした。それまで操作もろくにできなかったけれど、工場でいろいろと説明を聞いたおかげで、どのように写し出されるかまで理解できました。それで今度の夏休みの工場実習もミノルタにしようと決めたわけです。

そのほか、トヨタ会館やトヨタ博物館を見学しました。歴史的自動車から高級車までいろいろな車を見ることができ、どれもこれも乗ってみたい車だったので、ただ見ているだけというは少しつらい気持ちでした。



## 貴重な体験

4E 中内晃弘

今回、研修旅行に行って感じたことは、今まで自分が持っていた企業のイメージと実際とは大きくかけ離れていたということだ。例えば、最初見学した横河電機はいつも実験で使用している計測器しか作っていないと思っていたが、実際には測定器はもちろんのこと各種センサ、制御システム、航空機器など幅広く作っていた。

このうち、航空機器に関しては企業秘密とかで詳しくは見せてくれなかったが、そのような最先端の機器を作っている会社の屋上には温室があり、そこでコンピュータで温度や水などをすべてを管理する植

ほかに、パナソニック21。ここは、コンピュータのハイテク技術を駆使したゲームがたくさんあり、いろいろと楽しませてもらいました。また、海遊館。ここは水族館で、いろいろな種類の魚達を見ることができました。中でも一番目についたのは、全長10メートルはあるだらうジンベイザメで、あの雄大に泳ぐ姿は自由の象徴であるかのように見えました。

これまで書いたことは全て団体行動で、この研修旅行の一番の楽しみは、なんといっても自由行動です。みんなそれぞれに観光を楽しんでいたみたいですが、私は数人の友人と神戸へ行きました。地下鉄や阪急線を乗り降りして1時間近い道のりを、乗客の関西弁を聞きながら神戸へと向かいました。神戸では、異人館やメリケンパークといった有名な所をまわり、大阪に帰って道頓堀などにも足をのばしました。とにかく自由行動の時間は、とても楽しい時間でした。

最後に、全体的に少しきつかった研修旅行だったけれど、もう一度行きたいと思えるすばらしい旅行でした。



物の栽培実験まで行っているとは予想もできなかつた。横河電機を見学して感じたもう一つのことは、環境がとてもよく、一人一人の能力を発揮させることができる会社だな、ということだった。

次に見学したのは、東芝システムテクノロジー株だった。ここでも、東芝は家電専門だと思っていたのに、電力システムを作っていたことには驚かされた。ここで作っている発電監視システムは、安全確実に発電を行うために非常に重要なものであり、それを作るだけの高度な技術があるということはすごいと思った。この工場は土足禁止で、清潔なところだった。精密な機器を作るためには当然のことだと思うが、なかでもソフトウェア開発を行っているところは、静かで最高の環境だと思った。

最後に見学したのはJAL羽田整備工場で、ここでも、見学前は大きな飛行機のエンジンなら整備は簡単だろうと思っていたが、実際は多くの精密部品からできていて大変な作業だと思った。また、エンジン以外の他の部分も小さなところまで分解され、点検整備されているので、これなら飛行機も安心して乗れると思った。

これまで述べてきたように、この3つの会社で見たものは本当にどれも驚くものばかりで、とても勉強になり、また、就職してからはこのような機会はないと思うので、この研修旅行は貴重な体験だった。

## 古建築からOBPへ

4A 吉田美登子

5月13日、大阪に到着した私達を待っていたのは、斬新なデザインの水族館でした。最近、福岡でも活発に見られるウォーター・フロント計画。大阪の天保山ハーバービレッジは、その最先端といえます。

海遊館は、太平洋をイメージした深さ9mの大水槽を中心に、合計14の展示で構成されていて、見学者は環太平洋火山帯の海を見ながら見学できます。何といっても魚が幸せそうで、イルカが室内でジャンプする様を見たとき、この水族館の規模の大きさを実感し、将来の水族館はこうあるべきだと思いました。時間があまりなく、後ろ髪をひかれる思いで海遊館を後にし、宿舎に向かいました。

次の日は奈良めぐりです。中学で一度訪れた古都是、何も変わることなく迎えてくれました。古建築を少し勉強したせいか見る視点が変わり、前回に比べると興味深く見学できたと思います。あれほど大きな東大寺が焼ける前の6割になっていること、歩道に至るまで考慮されていること、さらに近くの池できえ、大きすぎる柱の作業場であったことなど、驚きの連続でした。とてもいい経験だったのは、興福寺南円堂の修理工事現場見学でしょう。9世紀に創建され、焼失、再建を繰り返し、現在の建物は18世紀のものです。私達はこの貴重な文化財の屋根に登って見学しました。修理にふみきるだけあって、傷みは激しかったけれど、骨組はしっかりしていて、歴史を感じました。

最終日はOBP(大阪ビジネスパーク)の見学です。ツイン21をはじめ、クリスタルタワー、大阪東京海上ビルなどのビル群は、大阪の新しい顔として計画された最新の建築物です。駅、道路、建物とすべてが計画に基づいており、快適でゆとりのもてる生活空間が窺えました。

古建築からOBPへ。言いかえるなら、現時点での建築史の最古と最新を見たような気がします。どちらも人間がつくり、生活していたわけです。そう思うと建築は奥が深く、この先どうなるのだろうと思わずには、いられません。この旅行は、私にとって、収穫が多く、とても楽しいものでした。



# 留学生ざっくばらんトーク

■出席者 / 林 仲 敏(電気工学科4年・マレーシア)

カウティヴォ(電子情報工学科3年・フィリピン)

■聞き手 / 篠田 登世子

ジャリル(機械工学科3年・マレーシア)

リー・イスカンダル(工業化学科3年・インドネシア)

## 自己紹介

篠田 日本の大学や高専で学ぶ留学生がこの数年急増していますが、本校でも昨年1人、今年3人の方が編入学しました。今日は、この4人の方々に日本や本校の学生の印象などについて、遠慮なく話し合っていただきたいと思います。まずは、日本に留学した動機等も含めて自己紹介からお願ひします。

リー 昨年10月に来日し、日本語学校で半年間学び本校にきました。子供の頃から留学したいと思っていたので高校卒業後、留学のための奨学金試験を受けたのです。こちらの化学実験は、最初は戸惑いましたが、だいぶ慣れました。しかし、日本語がまだよく読めないので、実験の仕方を理解するのに苦労しています。



カウティヴォ リーコと呼ばれています。好きな日本の食べ物は、シャブシャブで、嫌いなのは納豆。これは味も臭いも全然駄目です。自国では、働きながら大学で勉強していました。大学は昼夜開講されており、私は午後6時半から9時半まで学び、10時から翌朝6時半まで主にコンピューターにデータを入力する仕事をしていました。寝るのは昼間です。だから全然勉強ができなかった。勉強がしたくて奨学金の試験を受け、合格できて本当に良かったと思っています。

林 鍋料理や麺類が好きです。映画も好きですが、最初見た日本映画は80%は分かりませんでした。今は、テレビのドラマなど大体分かります。ニュースは興味がありますが、単語が難しく50%位しか分かりません。



ジャリル 旅行やキャンプが好きです。イスラム教徒なので、戒律が厳しく大変です。特に、食べ物が困ります。専門学校3年を卒業してきました。よい技師になりたいと思っています。よい技師とはなんか、そうなるためには何を勉強しなければならないか等を学びたいと思っています。

## 有明高専の印象

篠田 本校の学生についての印象はどうですか。

リー 授業中の居眠りが多いのにびっくりしました。インドネシアは夏休みも冬休みもない代わり、授業は午前中だけなので、学生は疲れないから居眠りしません。

篠田 本校の学生は疲れて寝ているのでしょうかね。

リー そうですね。でも1時間目から寝ている人もいますね。(笑) それに、私語が多いです。

林 同感です。クラスが騒々しい。来日前に、日本人はよく挨拶し礼儀正しいと聞いていましたが、そうでもないようですね。言葉づかいも、先生達と話をするときも、学生間で話をするのと同じ言葉を使

っていたりで驚きました。

カウティヴォ 良い印象の方は、学生の出席がよいこと。また、学生達は仲が良く、皆友達という印象です。気持ちも優しい。しかし、授業態度はあまり真面目でないようです。先生達は、真面目に一生懸命やっておられるのですが……。



リー 私はリーコさんと少し違う印象で、クラスに仲間やグループがあり、その中では仲がよいが、その間の付き合いはあまり良くない。他のクラスの学生達との付き合いも良くないよう思います。自国では、他のクラスの学生達とも良く話をします。

ジャリル クラブ活動が活発なのに驚きました。その代わりか、疲れて授業中朝からずっと寝ている人がいる。(笑) 後輩が挨拶しても、挨拶を返さない先輩がいるのにも驚きました。

## 学校週5日制

篠田 今年から、学校週5日制で土曜日が休みとなりました。これは、日本人は働きすぎと言われて導入された觀があるのですが、これらを含めて日本や日本人に対する印象はどうでしょうか。

ジャリル 日本は残業が多く、良く働いている。だから、日本の工業の発展などがあるのだと教わってきました。皆一生懸命に働いているのはすごいと思う。ただ、皆が本当に好きで働いているのかどうかを知りたいと思います。



林 日系企業で1年働きましたが、やはり残業があり、システムは同じだと思います。違うのは、仕事が終わると、向こうはすぐに帰宅するが、日本では

カラオケとか飲みに行ったり……。(笑)

カウティヴォ 来日前に、日本はきれいな国で環境は良いけれど、物価は高く、働きすぎると聞いていました。来てみて、実際そうだと思いました。マニラに比べてとてもきれいです。あちらは、ジープニーという自動車が走り、それが煙や臭いを出して空気を汚しています。日本人は、歩くのも食べるのも早いですね。何でも早い。天候の関係でしょうか、フィリピンはのんびりしています。

リー 働きすぎだし、真面目すぎると思うこともあります。女子高校生が門で圧死したことなど、すごいと思いました。自分達だと門が閉まつたら帰ります。

## 要望・希望

篠田 最後に、先生や学生達への要望はありませんか。



リー 日本語がまだ良く読めないので、教科書などを読むのが困難です。もう少し易しく書いてある本を紹介してほしいです。(全員うなずく)

ジャリル 日本の習慣や文化などに、まだ慣れていないので、知らずに良くないことをしていることがあるかもしれません。そのときには、どんどん注意して教えてください。日本のことを沢山吸収して、皆さんと同じようにやっていきたいと思っています。

篠田 長い間ありがとうございました。これからも健康に注意して、頑張ってください。



# シリーズ 研究室訪問

## 田口研究室 (機械工学科)

今回は、機械工学科の田口研究室を訪問してみます。まず、田口研究室の概要を紹介しますと、研究スタッフは、田口教授、貝田助手、明石助手、多田隈技官及び卒業研究学生10名で、機械工学の中の工作学という分野に関連する5つの研究テーマについて研究活動を進めています。なお、実験室は、機械工学科実験棟と総合実習センターにあります。それでは、早速訪ねてみることにします。

(聞き手 吉田正道)

吉田 工作学とはどんな学問なのですか。

田口 一般に、工作学とは言わずに工作法と言っています。

吉田 失礼しました。続きををお願いします。

田口 主に金属の塊から、いかに能率よくかつ精密に機械部品を作るかという技術を研究・開発する分野です。そのなかの細分野として、鋳造・溶接・切削・その他の加工法があります。切削の分野では、たとえば1,000分の1mmの狂いもないものを作るとか、刃物のような非常に硬いものを切る技術を考え出ことなどです。機械製作に関しては、設計と製



研究室のスタッフ  
(深穴加工実験装置の前で：向かって右から3人が田口紘一教授)

造技術の二つからなり、製造技術のほうはどうどちらかというと目立たないところですが、超LSIに代表されるように、いかに細かく精度よく作れるかという技術が今の日本を支えているといえると思います。

吉田 縁の下の力持ちなんですね。ところで、どうして先生は工作法の世界にはいられたのですか。

田口 学校を卒業するときにやりたいと思ったことは、精密機械を作りたいということでした。それで工作機械メーカーに就職し、技術部で実際作りながら機械の設計をやろうとしました。もう28年も前のことです。

しかし家庭の事情であえなく断念、九州に戻り、大学の先生のお世話で九大生産機械工学科に助手として採用いただき、そこで企業から来られた新任の佐久間敬三教授のところに配属されました。その先生が、これから主研究テーマとして掲げられたのが深穴加工でした。

吉田 突然、深穴加工という言葉が出てきましたが、これはしばし置くことにして、すばり、工作法の面白さはどこにあるのでしょうか。

田口 今まで作れなかったものを作れるようになります。職人の名人技を理論的に解明するのも面白いのですが、理論的に名人技を開発するのはさらに面白いと思っています。今までに、従来のものに比べて半分以下の力で削れるエンドミル（溝や側面を削る工具）及びこれも従来のものより半分以下の軸力で穴あけできるドリル刃形形状を開発し、いずれも特許申請の運びになりました。

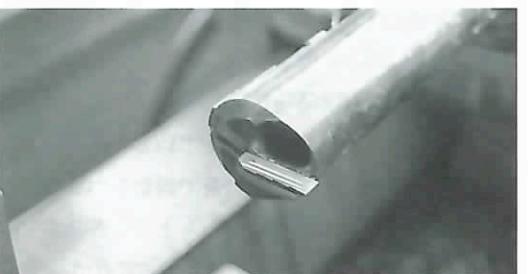
吉田 本当にすばり答えていただき、ありがとうございました。ところで先ほど出ました深穴加工の研究ですが、深穴とは何ですか。

田口 はっきりした定義はないのですが、普通のねじれぎりでは切りくずが出てこなくなるとか、上から切削油を注いでも穴の先端まで届かないとかという深さ、直径の約5ないし10倍の深さ以上を言うようです。

吉田 深穴加工の研究とはどんな研究なんですか。また、どんなことがわかったのですか。

田口 工具にかかる切削力の分析から工具の摩耗、この工具は切削油のなかで削ることになるので、摩耗の形態が違うのです。シャンク（工具の柄）の断面も独特の形をしているので、その剛性の改良案、それから穴の曲がりとか真円度とか加工精度について研究しました。特に穴の曲がりは深穴加工では最も問題となるのですが、考えるに必要な実験データは早々に取り、曲がりの傾向はわかったのですが、なぜ曲がるのかの理由付けが難しい。たとえば、工具を回転するよりも工作物を回転するほうが直ぐあくのですが、他のひとは「工作物を回転すると、その回転中心にむかって工具の求心作用が働く」といつて、それで何となくわかったような気になっているのです。

実際求心作用など働きはしないのですが、これをきちんと説明できるまで10年かかりました。10年目にパッと気が付いたのです。あとは、次々と曲がりの原因にはいくつかあり、各原因にたいして証明実験をし、2つの論文にまとめて発表しました。それまで、ドイツから曲がりの測定結果の報告が連続と入っていましたが、私の発表後それがピタッと止まったのは痛快でした。



深穴加工用ドリル先端

吉田 研究の奥義は、地道な努力とひらめきにあります。ところで、現在はどういうことを研究されているのですか。

田口 穴の曲がりは、初めのわずかな取付け誤差や工作物の非対称で生じ、一度目標から外れたらもう戻ることはありません。そこで、5年前より、曲がり制御のできる深穴あけ法を具体化しました。考え始めたのは15年前からですが、良い方法を考え出すまでこれも10年かかってしまいました。

それでも、世界で最初にやれたことに幸運を感じます。今実用化に向けて研究を続行しています。曲がりのほかに、真円度も同じ方法で制御することを考えています。これをさらに発展させて、これも永年の夢ですが曲がった穴の加工をめざしています。昨年、電気工学科の近藤先生や松野先生のご援助をいただき、手始めに曲がりの測定方法の研究に着手し



研究打合せ風景

たところです。

吉田 最後に、高専の学生にとって、卒業研究とはどのような意味をもつのでしょうか。またその取り組み方はいかにあるべきでしょうか。

田口 第一に、高専卒生が弱いといわれている独創性の発揮を試みる場だと思います。ともかく何でもよいから、これは自分が考え出したものだ、あるいは発見したものだというものを残してもらいたいと思います。大理論・大発見でなくとも、実験の仕方、データのまとめ方、装置の改善など、あらゆる場面で工夫する場を与えられていると思います。研究は新しい有効なことがらを出せなければ、いくら努力しても評価はゼロでしょう。

第二に、誤ったデータからは正しい結論は出ないので、研究実験ではかたよりのない、つまり予想外の影響因子が入っていないか常に注意し、考えることが大切です。

吉田 ありがとうございました。

# 卒業生の大学生活紹介

## ——英語は「大切」——

九州工業大学情報工学部  
生物化学システム工学科3年

西島 良介  
(工業化学科25期生)

九州工業大学情報工学部生物化学システム工学科に編入という形で進学した私は、今、幸福と不幸の狭間に立っています。それじゃあ平凡な生活をしているので、なにも心配事がなくていいじゃないかと屁理屈を考えた方がおられると思いますが、実はそのとおりなんです。

半ば強制的に進学させられた私は、ただ単に学生生活がながくなつただけだと考えていました。が、国際シンポジウムが、夏休みが始まってすぐに開催されていたとき、他の用事で学校に行ったついでに何気なくこの会場に入りました。その瞬間、私の脳細胞が、手と手を取り合って生まれたものがありました。

それは、英語に不自由しない耳と口と頭（と顔）を獲得するという目的です。まさに人種のるつぼと化したこの会場から聞こえてくる言葉は、いろんな訛のはいった英語だけで、高専時代に英語がいくら大切といわれても、実感できなかつたことが『ほんの数秒』で感じとることができました。この目的が生まれたおかげで、夏休みに入ってやつと不幸の状態から抜け出すことができました。

不幸の状態から脱出することができたというわけで、本題の大学生活の話に移ります。入学してまだ3か月しか経験していない私ですが、すでに地獄を体験しました。実際には、この体験は将来のためのSTAIRWAY TO HEAVENになると想っていますが、自分の時間につくるためには、睡眠時間を削るしかないようなハードな時間が多々ありました。

生物についてさっぱりわからない私は、実験のレポート、英語の文献、講義の予習などの（又は掃除、洗濯、炊事…）ために時間が本当に足らず、このときは本当に、1日が30時間だったと考えました。



さらにUNIX SYSTEMによるパソコンの補講など加わって、笑いが出てくるほど大変でした。さらにさらに、アパートの水との仲が悪く、そのおかげで余分なプライベートな時間が誤差の範囲ではありますが必要でした。

この原稿を書いている時点では、まだ夏休みということで、夏休み前までのことしか書けませんでしたが、非常に濃くて進行が早い講義のため、この夏休みは、復習を行い試験の準備をやらなければなりません。復習をやらなければならぬとはいっても、生物に対する興味が、まだ、あまりないので、いろんな面で心配しています。『下りのエスカレーターを上っている気持』で頑張らなければ、来年は、一週間の半分以上がアルバイトという生活を送ることになるでしょう。

最後に、一筆添えさせていただきます。高専時代にやっておくべきだったと考えていることがあります。それは、とにかく自分自身で機会をつくり英語の大切さを知り、これを納得した上で、英語の文献などに慣れておくべきだったということです。と、いうことで、皆さんは専門英語を頑張ってください。また、英会話も非常に大切だと想っていますので、ビデオなどを見るときにも、少しずつでもいいから会話パターンを吸収してください。

# 卒業生の活躍状況

## ——社会に出て、11年余——

(株)フコク  
高田 康二  
(機械工学科14期生)

現在、私は埼玉にある(株)フコクという、主に自動車関係のゴム製品を製造する会社で働いております。

主要な製品に、ワイパー、ブレーキ用ダイヤフラム、シール部品等、市場占有率の70%を超える製品を数多く持つ、ユニークかつ活気のある健全な会社であります。

その中で、私は工務部管理グループに属し、会社内すべての設備の選定、購入、立ち上げ、また、自動機の設計、保守メンテナンス等の管理、指導を主な仕事としております。仕事の一つ一つが、内容、時期、立場等すべて違った状況の下に動いておりますので、毎日が緊張と反省の連続です。

入社してまもない頃は、恐れを知らないガムシャラな自信で、まわりのことなど見えませんでしたが、大半の人と同様、2~3年も経った頃には、不安や、あせり、まわりの人や自分に対する不満でいっぱいです。何度も今の現状からのがれたくなつたものでした。ただ毎年、会社を訪問してくださる先生方や、実習生の皆さんに会うたび、もう1年、もう1年と、頑張れた次第です。そのうち、仕事にも責任をもたされ、後輩も多くなり、自分という個人の立場から、組織の中の自分の立場、社会の中での高専出身者の立場もわかってきたように思います。

さて、最近の自動車業界の動向は、海外への自動車輸出から、現地での組立て生産、部品の調達等、世界各国へ広がっていますが、当社フコクも、アメリカ、ヨーロッパの会社との技術提携、アジアへの工場進出等を行っております。私も、3年前からタイの合弁会社の金属加工設備の担当として携わっておりますが、海外で仕事をする大変さや、責任を感じております。

少し話してみると、タイの国は今、モータリゼ

ーションの波が押し寄せ、のきなみ日本の自動車メーカーが進出しております。その中で、エンジニアが不足しており、特に日本企業間での引き抜き合いがあります。より高い賃金、より高い地位で、他の企業に抜かれてしまい、エンジニアの確保に、大変な思いをします。

第二に、機械設備が海外(特に日本)からの輸入でしか入手できないことや、小物の工具備品等も日本のように入手できないことなど、だいぶ違います。

第三には、言葉の問題。作業の要領を作業者に言葉で伝えるのは、無理です。完璧なマニュアルを日本語、英語、タイ語で作成し、さらには、写真、絵などで、補足したりして説明せねばならず、言葉が通じないということの大変さを実感しました。しかし、真剣に、また誠実に取り組めば、相手にも真剣に応じてもらえますし、成果も必ず出るということを確信できました。

とりとめのないことを書いてしまいましたが、これからも、自分の今置かれた立場で、最善を尽くし、積極的に頑張っていきたいと思います。また、ロボコン等、母校の活躍は、卒業生として、大変心強く思っております。



タイ バンコク市内  
現地のタイフコク(株)のスタッフと  
(筆者は後列向かって左から4人目)

# 熱!! 汗!! 爽!!

## 九州地区高専体育大会

平成4年度九州地区高専体育大会が、下記のとおり行われました。

本校選手は、日頃の厳しい練習で鍛えた力をいかんなく発揮し、13種目の優勝・12種目の準優勝を成しとげたという、すばらしい成績を残しました。

主な成績は次のとおりです。

- 第29回九州地区国立工業高等専門学校体育大会  
7月17日(金)～19日(日)  
主管校/鹿児島高専 担当校/八代高専・都城高専  
〔鹿児島会場〕
- 陸上競技 総合5位  
男子100M 3位 渋谷 男子400M 1位 田中  
男子4×100M・R 1位(岩村・田中・八井・渋谷)  
男子110M・H 3位 石井 男子800M 3位 本郷  
男子4×400M・R 1位(松尾・白石・龍野・田中)  
男子走高跳 4位 山田 男子やり投 3位 岩村
- ソフトテニス 予選敗退
- バドミントン  
団体 1位 男子シングルス 3位 牧嶋  
男子ダブルス 1位(立石・城戸) 2位(児玉・牧嶋)  
女子シングルス 3位 平田 3位 宮木  
女子ダブルス 1位(平田・宮木)
- 水泳 総合2位  
男子400M・M-R 3位(田中・米田・永松・小野)  
男子800M自由形 3位 岡本 4位 別府  
男子200M個人メ 5位 神田 男子200M背泳 2位 田中  
男子200M平泳 3位 米田 男子400M自由形 4位 岡本  
男子100M自由形 3位 小野 男子100M背泳 3位 田中  
男子100M平泳 2位 米田  
男子400M・R 1位(岡本・永松・中川・小野)  
女子オープン50M自由形 3位 岡本 4位 増田  
〔八代会場〕
- 硬式野球 2位
- バスケットボール 2位

- 卓球  
男子団体 予選敗退  
男子ダブルス 1位(池田・田中)  
女子シングルス 1位 末吉
- 剣道 2位  
〔都城会場〕
- サッカー 1回戦敗退
- 柔道  
団体 2位 中量級 3位 未安 軽重量級 2位 岩津  
重量級 3位 塚
- バレーボール 3位
- テニス  
団体 1位 男子シングルス 2位 広田  
男子ダブルス 1位(江口・葉玉) 2位(広田・福山)  
3位(松本・川口)  
女子シングルス 2位 橋本  
女子ダブルス 1位(橋本・三宅)

- 第19回九州地区工業高等専門学校ハンドボール大会  
7月12日(日) 主管校/有明高専 1回戦敗退
- 第22回西日本地区高等専門学校弓道大会  
7月23日(木) 主管校/八代高専 男子団体1位
- 第74回全国高等学校野球選手権福岡南部大会  
7月11日(土)～ 主催/福岡県高等学校野球連盟  
2回戦敗退



# 全国優勝5種目(陸上・テニス・バドミントン) 陸上400m 田中君2連覇

## 全国高専体育大会

平成4年度全国高専体育大会が、下記のとおり行われました。

九州地区大会を勝ち抜いた本校選手は、この好調を持続、堂々5種目の全国優勝を成しとげました。  
特に、陸上400mの田中君は、昨年に続く同種目の連覇を達成しました。

主な成績は次のとおりです。

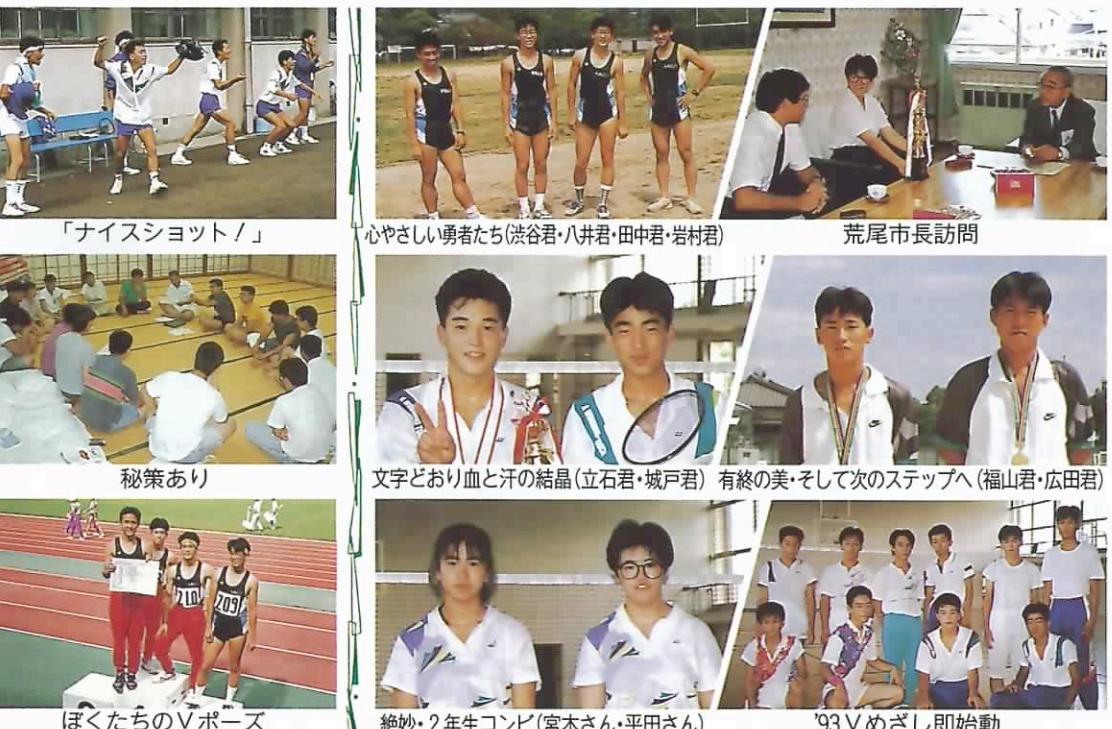
- 第27回全国高等専門学校体育大会  
8月22日(土)～23日(日) 主管校/東京高専  
○陸上競技  
会場 駒沢オリンピック公園陸上競技場  
男子400M 1位 49秒53(大会新) 田中昌臣  
男子4×100M・R 1位 43秒41  
(岩村英範・田中昌臣・八井健次・渋谷信一)  
男子4×400M・R 4位 3分26秒69  
(松尾太郎・白石晉悦・本郷武志・田中昌臣)
- 卓球 会場 千葉県総合運動場体育馆  
男子ダブルス 1回戦敗退(池田友幸・田中智巳)  
女子ダブルス ベスト8(橋本真紀・三宅めぐみ)  
女子シングルス 1回戦敗退 末吉陽子

- 第15回全国高等専門学校テニス選手権大会  
8月6日(火)～8日(木) 主管校/茨城高専  
会場 勝田市民総合体育馆  
茨城高専第1、第2体育馆  
茨城県笠松運動公園体育馆  
男子団体 2回戦敗退  
(江口・広田・葉玉・福山・松本・川口)  
男子シングルス ベスト8 広田茂樹  
男子ダブルス 1位(広田茂樹・福山能成)  
ベスト8(江口裕章・葉玉豊一朗)  
女子ダブルス ベスト8(橋本真紀・三宅めぐみ)  
女子シングルス 1回戦敗退 末吉陽子

- 第16回全日本高等専門学校  
バドミントン選手権大会  
8月7日(金)～9日(日) 主管校/茨城高専  
会場 茨城県立スポーツセンター  
男子団体 2回戦敗退  
(児玉・待鳥・牧嶋・立石・城戸・釜田・中田・平川)  
男子シングルス ベスト8 牧嶋隆光  
男子ダブルス 1位(立石健一・城戸幸信)  
2回戦敗退(児玉敬志・牧嶋隆光)  
女子シングルス 1位 平田宏美  
2回戦敗退 宮木理恵  
女子ダブルス 3位(平田宏美・宮木理恵)

**優勝者のことば**

● 5年間の陸上生活の最後を優勝で飾ることができたのは、とてもよかったです。  
(E 岩村英範)  
● 明るくてよかったです。 (C 田中昌臣)  
● 辛い冬期練習や合宿のとき不調だったりしたので、やめたいと思ったこともあったけど、辛かった分、とてもうれしかった。今からは、もっと上をねらって頑張りたい。 (A 渋谷信一)  
● クラブ全員の力で勝てたのだと思いま  
す。みんなに感謝したいです。 (C 広田茂樹)  
● 高専生活最後の年に優勝できて、本当にうれしいです。これもクラブ全員のおかげです。 (C 福山能成)  
● 5か月間、毎日走ってきたかいがありました。本当にうれしいです。 (I 立石健一)  
● 大会前にケガをしてしまいましたが、立石さんのおかげで優勝できました。本当にうれしかったです。 (E 城戸幸信)  
● 九州大会のとき、準決勝で負けた相手に、全国大会の決勝戦で対戦して勝てたので、うれしかったです。 (A 平田宏美)



# シリーズ 人物・いま

現在、本校では、体育系・文化系あわせて12人の方が、コーチとして学生の指導に当たっておられます。今回は、その方々のなかから4の方に御登場願って、日頃の思いを語ってもらいました。4氏はいずれも、この夏の九州地区高専体育大会で、クラブを準優勝に導いておられます。

## いま、思うこと

### 柔道部コーチ 山下政行



4年連続準優勝。これが第29回九州地区高専大会の成績である。柔道部の試合成績は、準優勝が圧倒的に多い。今回は12回目の準優勝である。また、3位も2回ある。柔道競技は過去28回開催されているが、決勝進出は17回あり非常に多いが、優勝したのは3回と極端に少ない。これはコーチである私の責任であると痛感している。しかし、今更柔道部と縁は切りたくない。

今年度から、大会参加費のうち宿泊料について半額自己負担になったため、早速柔道部OBの方々に援助のお願いをしたところ、1期生3名を含む多くの

## 平成4年 夏

### 剣道部コーチ 堀田孝之

試合が終わったあと、選手達が涙を流していた。それに驚くとともに、羨ましく、そしてうれしかった。



今年の悔しさを来年へのバネとして、大きく飛躍して欲しい。そのためには技の練習はもちろんのこと、精神的な修練が必要不可欠だろう。厳しい練習を乗り越えてこそ味わえるものを目指し、ともに頑張ろうではないか。



平成4年、高専にきて7度目の夏を迎えた。7度目の高専大会が始まろうとしている。今年の当番校は八代高専で、いれこみ方も大変なものだ。昨年は優勝したが、今年はどうなるかはやってみないとわからない。

7月18日、大会当日である。昨年の全国大会ほどの緊張はなく、選手は朝を迎えたようだ。しかし、こちらの方が興奮してよく眠れなかった。試合の結果は、決勝リーグに残ったが、八代高専に負け2位となった。優勝はできなかったが、すばらしい成績だ。



バスケット部のコーチをするようになって、5年目になりました。

私の目から見た高専の部活は、1日の練習時間や練習期間が短かく、練習量を多くできない点ではかわいそ

## 少しでも力になれば

バスケットボール部コーチ 森田恵一

うだなと思う。しかし、いろいろな練習器具や施設があり、指導される顧問の先生に恵まれ、うらやましく思うことが多い。

今年、九州地区高専大会で準優勝し、来年こそは全国大会へとチーム一丸となってがんばろうとする彼らに、少しでも力になればと思う。

## 着実な力を

硬式野球部コーチ 松原征男

る姿勢が良くなつたと、勝敗以外のことでも少しでも喜んでもらえたときは本当にうれしくなります。



わが野球部は、技術的にも精神的にも未熟ですが、まわりの多くの人にささえられ、少しずつですが着実に力をつけてきていると思います。高校野球は県大会を、高専大会は全国大会をめざしてがんばりたいと思います。

野球部の監督を引き受けた3回目の夏が終りました。監督を引き受けた当初、まず自分自身が毎日練習でよう、そうしないと学生とのコミュニケーションがうまくとれないなと思いました。次に、試合に勝つことだと思います。勝つことにより学生に自信がつき、練習にも意欲がでてくると思いました。それに勝つという結果が技術面だけでなく、精神面にも良い影響を与えると思いました。

監督をしていてうれしいのは、やはり試合に勝ったときですが、高専のみなさんや他の学校の先生方から、あいさつをよくするようになった、野球に対する

## 平成3年度 体育局・文化局クラブ所属学生表彰者

### [体育局] 42名

柔道	⑩荒巻 千年	⑪立野 勝巳
剣道	⑩川島 謙次	⑪林田 和男
陸上競技	⑪堀口 晋市	⑪岡村 英樹
弓道	⑩木原 敦	⑪八尋 耕亮
登山	⑩九郎丸善和	⑪松本 孝久
水泳	⑪稻田 誠司	⑪伊藤 正徳
<hr/>		
サッカー	⑩古賀 弘之	⑪高田 賢児
	⑩中川 英貴	⑪坂 典行
	⑪寺本 和生	⑪今村浩一郎
	⑩江上美智子	
バレーボール	⑪岡山 昌雄	⑪福原 和矢
	⑪吉村 隆	⑪田中 陽子
バスケットボール	⑩前川 和憲	⑪太田黒庸行
	⑩塩田 和晃	⑪久米 健一
<hr/>		
[文化局] 5名		
吹奏楽	⑩高村 喜威	⑪有富和歌子
	⑩高木 香	
コンピュータ研究	⑪河野 光貴	⑪森田 真吾

# 公開講座

平成4年度本校主催の公開講座が、下記のとおり行われました。今年度は、設備の都合でやむを得ず受講を断る講座も出るほどの盛況で、それぞれの講座で熱心な受講風景が見られました。

講座名	対象	期間	定員	主催
楽しい電子工作教室	中学生	7/21~7/22	20	電気工学科
やさしい化学実験講座	中学生	7/23~7/24	20	工業化学科
初心者のための情報処理講座 (パソコン操作技術講座)	一般	7/27~7/31	40	電子計算機室
おかあさんのためのワープロ教室	主婦	7/28~7/31	20	電気工学科
パソコンお絵かき講座	中学生	8/3~8/4	20	電子計算機室

## おかあさんのためのワープロ教室

今日では、ワープロ、コンピュータ等のハイテク機器の使用は、業務上では当然のこととして、個人的にもワープロを利用したり、又は利用を考えている人が増えてきている。そこで、こういう状況を踏まえ、7月28日より7月31日までの4日間、電気工学科主催により、公開講座「おかあさんのためのワープロ教室」が行われた。

本講座は、日常あまりワープロ、コンピュータなどに接する機会が少ないおかあさんに、これらの基礎を理解してもらう目的で本年度はじめて行われ、定員20名に対し参加者26名と、盛況のうちに終了した。ワープロは、初心者にも比較的使いやすいコンピュータのマッキントッシュ12台を集め、これと市販のワープロソフトを使用した。

講座内容は、第1日目にマウスやキーボードなど



## やさしい化学実験講座

工業化学科公開講座“やさしい化学実験講座”は、7月23日(木)、24日(金)の両日工業化学科の実験室を会

の基本的なコンピュータ操作を習得してもらい、コンピュータに慣れてもらった。2日目は、簡単な例文を利用した文書作成を通してワープロの基礎的な機能、使用法を理解してもらった。3日目は、字体の大きさや種類の変更などの文書装飾、さらに表作成など進んだ機能を習得してもらった。4日目は、それら全てを総合実習するための感想文を作成してもらった。

このように、ワープロの使用法はもとより、コンピュータの基礎まで学習する内容であった。参加者のほとんどはこれまでにワープロを使用されたことのない初心者であり、最初は不慣れで戦慄苦闊されている方多かった。

しかし、4日間とも家族的な雰囲気のなかで講座は進み、参加者の努力と指導教官の熱心な指導により、最終日には全員が暑中見舞いや感想文などの文書を作成し、コンピュータやワープロに対する理解を深められた様子であった。4日目の総合実習において作成された感想文では、ほとんどの参加者が参加して有益であったと報告されたり、実際にワープロの購入を決意されたことなどが記され、全体的に好評であった。

場にして行われました。参加人数は、18名（2日目は15名）でした。7月23日は、まず工業化学科主任

教授木佐木先生の挨拶に引き続き、中学生は6班にわかれ、実習Aから実習Fの6つの実験課題のうちの3つの実験課題に取り組みました。7月24日は、残りの3課題を実験しました。

実習課題及びその概要を以下に示します。

実習A パソコンによるおもしろ化学学習

化学現象をシミュレートしたBASICプログラムを走らせることによって、化学的現象を視覚的に実験する。

実習B ミクロの世界の観察

IC（集積回路）や普賢岳の火山灰を電子顕微鏡で観察する。

実習C 固体燃料の製造とイオンの不思議

キャンプで使えるような固体燃料を製造する。呈色反応により、マンガンイオンのいろいろな酸化状態とその色を観察する。

実習D 水の沸騰現象及び気体の圧力

ソフトドリンクの中の二酸化炭素の量を調べる。大気圧の効果を調べる。

実習E 角砂糖の燃焼、つぶれる空き缶、交通信号反応、レーキンの製造  
実習F 赤い噴水の発生と鏡の作製

中学生にとくに人気のあったテーマは、実習Bのミクロの世界の観察、実習Fの赤い噴水の発生及び鏡の作製でした。中学生は、非常にまじめに実習しており、また指導員の工業化学科学生と仲良く談笑している姿は、誠にほほえましく感じられました。

アンケート結果によると、約8割の中学生が講座の内容は面白かったと答えており、本講座により、中学生は、化学に対する興味を持つようになったのではないかと思っています。



## 研究者としてのスタート地点に立って

電子情報工学科助手 森 紳太朗

構成には数式処理の手法を援用しました。そして、この解析解を用いて計算を行い、伝送特性の優れた光ファイバの屈折率分布を提案しました。

研究を行っている間、指導していただいた教授との議論を幾度となく行いました。ほんの些細な過ちから、延々と行ってきた計算が全く無駄になったこともあります。しかし、それらを乗り越えて、連日の徹夜に近い執筆作業の末に論文が完成したときに、「少なくとも、私は一つの事柄をやり遂げたのだ」という自信を得ることができました。



まず光ファイバの伝送特性を記述する解析解を導きました。光ファイバの任意の屈折率分布を取り扱うことができるようとした結果、この解析解は非常に複雑なものとなりました。そのために、解析解の

いま、ようやく研究者としてのスタート地点に立っているという視点から振り返ると、自分が行ってきた研究というものが非常に狭い分野の、ほんの一点であることを痛感させられます。しかし、このような「小さな」研究の集積が大きな流れとなって技術の発展に寄与しているのだと思います。

# 学生会だより

## 学生会長として思うこと

学生会長 5E 塚本正彦

会長の塚本です。いつも学校中をうろうろしているので、もう1年生でも、顔と名前は覚えてくれていることでしょう。うろうろしていると、よく感じることがあります。それは、学校が汚ないということです。みなさんも、今、首をたてに振っているのではないでしょうか。「どこが?」と思う人は、目やにをよくとて、もう一度、辺りを見まわしてください。

今、美しい空間を目指し、整美局を中心に活動しておりますが、ごく少数の者のために、いっこうに美しい学校を見ることができません。あなたは、そのごく少数の者に、はいってはいませんか。

さて、先日、交通安全運動のために、いくつかのポイントに別れて、朝、立ちました。そのとき、あまりにも、あいさつがないことに気付き、残念に思っています。先生、来客の方、知人を目にしたときなど、人間として、最低限のマナーを忘れてはいないでしょうか。最近の学生は、無気力、無関心、無感動といわれますが、もっと有明高専の学生といふ誇りをもって、生活して欲しいものです。

9月の末には、今年度最大のイベント、体育祭もひかえており、学生会でも、5か月前から作業にあたっています。そこで、主な問題点としては、学科、女性の人数の差の穴うめなどがあり、実際のところ、解決は無理なことかもしれません。しかし、なるべく平等に近い状態で、楽しく競えるように、団長を通じ、話し合いを重ねています。ですから、みんなも少々のことには目をつむって、体育祭の成功に協力してください。

心に残る体育祭を、全員でつくり上げましょう。

## 体育局より

体育局長 5A 佐藤一政

現在、高専では、女子の人数が、年々増えているといった状況です。そういう中で、今年の春季球

技大会では、女子種目を必修種目として行いました。各クラスでの、女子の人数のアンバランスといった点が、問題ではありました。みんなの協力のお陰で無事終えることができました。

さて、今年は、9月20日に「五群全開加速中!」というテーマで体育祭が行われます。この体育祭では、毎回行われている棒たおしの種目が、危険な種目であることと、また各科の人数が合わないこと等の問題点が起き、実施することが不可能になりました。そこで、アンケートを基に、できるだけ多くの人が楽しめるような種目を、時間を重ねて考えてきました。

みなさんも、勉強やクラブ活動、その他いろいろなことで忙しいとは思いますが、特にこの体育祭では、父兄や卒業生の方々がお見えになるので、せいいっぱいのご協力を願います。



春季球技大会・最優秀クラス 5C

## なぜ、有明高専は汚いのか

整美副局長 4C 大里浩幸

我が有明高専は、今大変汚れています。高専の印象についてのアンケートによれば、「校内が汚い」という感想が大変多いという結果がでています。なぜ、有明高専は汚いといわれるのでしょうか。

廊下を歩けば、ゴミ箱からあふれているパンの袋やジュースの紙コップ、教室の中では泥や砂ぼこりの多さ、ロッカーの上にはジャージ等が無造作に置かれています。また、ゴミ箱が何箇所にも設置されているにもかかわらず、中庭などに捨てられたゴミがたくさんあります。これらは、みんなの自分さえ良ければという気持ちの表れではないでしょうか。自分が出したゴミには、最後まで責任を持つぐらいの気持ちが欲しいものです。自分達の学校は自分達の手できれいにする、といった気持ちを持ちましょう。

高専維新という言葉がありました。今こそ有明高専を美しく変えるべきではないでしょうか。

# 学寮だより

## 寮生活について

寮務主事 仁田原 元

今日のような、情報化社会においては、新しく学ぶことが多く、しかもすぐに次の新しい知識や情報を更新し続けなくてはならない。一昔前においては、若いころに学習した知識が一生通用したものであるが、情報化社会の到来とともに、生涯教育や学習が必要不可欠なものとなっている。

そこで、生涯教育の前提である自発的学習意欲を、自から進んで育てて欲しい。寮においては、勉強を通して、学習の習慣性を培うことを願っているが、実質は寮生諸君の自発的学習意思にすべて依存している。前記のことを頭に入れて、努力して欲しい。

次に「寮生の、寮生による、寮生のための生活」を作り上げるために、一人一人が寮生会の繁栄を願って、積極的に役員や諸係に協力し、目的を達成するよう努力して欲しい。また、役員は責任の重さを自覚し、寮生諸君の連帯意識を育てるためにも、「寮風」の確立、精神的環境、すなわち雰囲気づくりに努力してもらいたい。指導に頼るだけでなく、皆、協力して、しかも充実した生活ができるように期待しています。

## 私の寮生活

寮務主事補 井上 仁志

寮生の皆さん今日は。寮務主事補の井上です。実は、私も大学4年間は寮生活をしていました。そのときの思い出話を書いてみたいと思います。

1年生のとき、日体大で1番厳しい第1学生寮に入る。寮監の先生が、入寮式のときに「君達新入寮生はときには先輩から殴られることがあるかもしれないが、それは君達が憎いからではない。それは先輩の『愛のムチ』なのだ。」これを聞いて、大変な

ところへ来たものだと思った。まず朝点呼は7時で、点呼10分前に整列。2年生がものさしで足先を真っ直ぐに揃える。3・4年生が出て来たときに列がまがっていたら説教。点呼までの10分間は沈黙。大太鼓の合図で点呼が始まる。1から40までの番号が5秒で終わる。これもしくじると説教がまっている。1人のミスも全体責任である。寮から学校までの200m程の通学路は、すべて駆け足。先輩が正面からくるときは10m手前で挨拶、それちがうときにまた止まって「失礼します」。後ろから抜くときは、5m抜き去って立ち止まり回り右をして挨拶。寮の門限は7時半。少しでも遅れようものなら、他の1年生全員正座をして待っています。クラブが7時20分頃まであるのでダッシュで帰ります。その後、3・4年生について風呂当番。背中の垢擦りから頭洗い、あがった後の体拭き。夜の点呼は9時。寮委員の話があった後なにもなければ11時までが自分の時間。11時に大太鼓の合図で消灯。大太鼓が3回なるまでに消灯しないとまた説教。

こういった充実した?1年間と、後の合宿寮での同じような3年間も過ぎてしまえば懐かしい思い出です。寮生の皆さんも充実した寮生活がおくれるようお互いに努力し、協力していきましょう。

## 寮の環境について

寮務主事補 明石 剛二

今まで、地球上の生物は進化し続けている。つまり、生物には回りの環境に順応する能力が生まれながらに身に付いているのだ。

寮で生活する学生はどうだろうか?

人間形成の中で最も影響を受ける時代に200名以上の人間と生活を共にする学寮、このような状況の中で環境に順応する能力が最大限に働いている。

不安定な状況(人間形成中)では、どちらにでもすぐに傾いてしまう。

そのように考えてみると、学寮という環境が大切であり、より良い環境(精神的な面)の寮を築き上げるための努力が今後とも必要であることが、改めて痛感させられている。

•シリーズ•  
クラブ紹介

〈華道愛好会の巻〉



モットーは「明るさ」と「マイペース」

部員の構成を教えてください。

4年生10人、5年生7人の計17人、すべて女性です。  
どのような練習をしていますか。

毎週金曜の放課後、図書館2階セミナー室で山崎先生に池坊流の生け花を教えてもらっています。先生の手本を見ながら花を生け、その手本を覚えて家に帰ってもう一度生けます。でも先生のようにうまく生けることができません。個性が出ます。

今回は、4月に新しくできた華道愛好会と、華道同様日本文化の一つを形成している茶道に取り組む茶道同好会を紹介します。

(聞き手 松岡高弘)

愛好会に入ろうと思った理由を教えてください。  
花のある生活には潤いがあっていいなと思ったり、一つでも特技があったらいいなと思ったからです。  
華道をはじめて良かったことはありますか。

生活にゆとりができたような気がします。花の名前を覚えられるようになったことも良かったことです。  
今後の希望を聞かせてください。

現在は愛好会なので早く部に昇格させたいと思います。高専祭では作品を出展させたいこと。そして下級生がないので入ってほしいこと。男子学生も歓迎します。もっとPRして部員を増やしたいです。



「うん！決まったね」

どのような活動をしていますか。

4月に歓迎の茶会、夏休みに大牟田市文化会館で大牟田高専地区の学校茶道連絡協議会主催の茶会、お正月に先生のお宅の茶室で初釜、2月に送別の茶会、そして高専祭では野点をしています。

お茶を始めて良かったことはありますか。

あいさつがきちんとできるようになったことや、正座ができるようになったこと。

今後の希望を聞かせてください。

下級生の部員が少ないので、多くの人が入ってほしいこと。いろいろな場でお点前を披露したいことなどです。



実感「一期一会」



淑女・紳士たち

第25回九州地区四高専  
吹奏楽部合同演奏会

今年で4半世紀の歴史を積み重ねてきた四高専合同演奏会が、大分高専の担当で大分市の県立芸術会館において7月29日(水)午後6時より開催されました。当日はウィークデーでありましたが、多くの方々に来場していただき、2時間余りプラスの響きを楽しんでいただきました。

今回も例年どおり3部構成で、1部：オリジナル(プラスバンド用に作曲された曲)、2部：ポピュラー、3部：クラシックのステージとなっており、特に3部は有明、大分、北九州及び久留米の吹奏楽部員全員(約100名)による迫力のある演奏で盛大な拍手をいただきました。本校の吹奏楽部員もそれぞれの持ち場で精一杯の活躍をし、演奏会の成功に貢献していました。

また、演奏会前の6日間の合同合宿により、学校の枠を越えた友情を育むことができ、これも本演奏会の意義の一つがありました。本演奏会の開催を陰ながら支えてこられた各校の関係教職員の方々の努力も、忘れてはならないことだと思います。

なお、来年は本校の担当で、大牟田文化会館において開催される予定です。(吉田記)



合同合宿出発前



友情の心が一つの音に融け合って

第25回九州地区国立工業  
高等専門学校英語弁論大会

7月28日(火)、佐世保高専にて標記のコンテストが行われた。参加者はRecitationの部(与えられたB5、1ページ程度の英語を暗唱するもの。1、2年対象)14名、Speechの部(7分程度のオリジナルな内容についてのスピーチ)11名であった。本校からは、Recitationに水谷(2A)、藤田(1A)、Speechに白石(2A)が参加した。

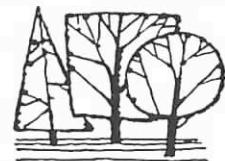
Recitationの部の1位は鹿児島高専(男子)、Speechの部では、1位、2位とも都城高専(いずれも女子)が占めた。

残念ながら、本校の出場者は3人とも初めてということもあって、入賞できなかった。白石さんは、「Why do I like reading?」と題した読書の意義についてのスピーチであった。審査員は米国人2人を含む3名。スピーチの内容と情熱的な語り口に対しても良い評価を得たが、母音の発音についての指摘を受けた。しかし、3位以下の彼女を含む5人程度は実力伯仲で、順位を付けるのは困難と思われた。

最後に審査委員の先生が、「参加者全員が勝利者である。諸君は3か月分の英語の勉強をしました」と結ばれたのが印象に残った。英語の勉強、特に英会話に繋げる勉強は、とにかく多くの英文のパターンを覚えることである。その意味で、このコンテストは大いに意義があると思う。

コンテスト終了後、1位入賞の都城の女子学生が、日本語より英語が得意かと思わせる英語で他校の先生に話しかけているのを聞いた。彼女は4年生。来年も出場すると思うが、誰か挑戦しないだろうか。

(上原記)



## 学生表彰・資格試験等合格者

### 《卒業生表彰》

#### 成績優秀者

学科	氏名	学科	氏名
M	九郎丸善和	C	太田黒庸行
E	立野 勝巳	A	佐藤裕次郎

#### 5年間精勤者

学科	氏名
M	阿部 満朗
岡本 寛	E 立野 勝巳
杉内 勝弘	A 塩田 和晃
林田 和男	M 長岡 信行
松岡 秀之	E 西村 勝久
三坂 直行	C 猪渡 研一
宮川 岳志	M 松岡 秀之
和田 善郎	C 高見さお子
江上美智子	E 宮川 岳志
河野 将樹	A 謙山 正剛
後藤 誠也	E 河野 光貴

#### 1年間皆勤者

学科	氏名
M	荒巻 千年
E	西島 良介
C	大野 弘子
A	高木 香
M	前川 圭祐
E	森嶋 清敏
A	森田 真吾
M	高見さお子
C	新村 幸凡
E	佐藤裕次郎
A	塩田 和晃
E	古賀 雅治
C	山田 信二

### 《在校生表彰》

#### 1年間皆勤者

学科	氏名	学科	氏名	学科	氏名	学科	氏名	学科	氏名
1 M	磯濱 了介	原武 由美	城戸 幸信	植松 繁	入江 鉄也	古賀 恵子	瀧崎 隆司	木下 敏士	秀治
	井上 力丸	藤田 安紀	猿渡 康隆	杉野 重人	岡 裕一郎	榮 鉄舟	尋木 信一	白石 敏士	敦士
	岩本 将茂	前川 信吾	只隈 正和	田中 智己	柿口 恵子	高永 秀敏	長 昌幸	瓦林 貴光	貴光
	緒方 栄介	松尾 由美	田畑 健一	内中 晃弘	坂口 駿	豊福 博文	秋山 伸一	藏田 純也	誉悦
	神原 宏行	松藤 千華	塙本 誠二	牧嶋 隆光	西田 和馬	内藤 和弘	井浦 貴史	竹内 周二	剛
	谷川 浩	松本 彰朗	堤 晋太郎	松村 和宏	野口 浩二	永吉沙緒理	永吉 賀直之	田中 あづさ	田中
	西村 公志	森山 孝幸	中島 伸	林 伸	吉口 浩二	黒川 史絵	江藤 誠	永松 祐	祐
	堀 勇太	吉富 貴司	島中 繁	野口 浩二	古賀 充朗	白石 泰土	木下 敏士	小林 美和	美和
	藤崎 理昭	渡部 佳代	中島 伸	林 孝一	江口 成次	田畠友里恵	白石 敏士	福本 美和	美和
	古川 茂雄	甲斐田 知博	甲斐田 知博	吉岡 大典	田中 良幸	早川 慎吾	瓦林 貴光	松尾 浩延	浩延
1 E	岡野 和教	進藤 悟司	井上 由紀	井上 雅裕	西村 昌二	桂一	藏田 純也	水谷 博子	酒井 琴美
	小田 恭之	中嶋 裕子	浦田 清田	浦田 駿	西村 昌二	古賀 敏	竹内 周二	水谷 博子	琴美
	尾張 智	萩原 德康	古川 浩章	古川 浩章	西村 忠志	高木 駿	田中 智美	内田 知洋	知洋
	丸 亮	矢羽田 健二	松永 智	松永 智	小野田 龍	平木 宏美	福本 美和	内田 知洋	知洋
	近藤 洋文	安藤 大之	梅原 黃	梅原 黃	橋本 智	丸山 幸	松尾 浩延	武田 真一	真一
	齊田任日州	大塚 誠	太田 黒	太田 黒	高見 伸	宮崎 主介	江藤 秀幸	元村 進一	進一
	佐尾 章二	和重	進藤 俊喜	小宮 淳之	申仲	吉田 広志	清田 寧司	山下 広志	吉田 潤治
	坂本 信一	緒方 伸彦	德永 俊喜	森 淳子	伸彦	吉田 潤治	近藤 鐘城	吉田 潤治	吉田 潤治
	豊田 満弘	兒玉 豪助	門本 浩史	門本 浩史	義和	吉田 英人	鈴木 錠城	鈴木 錠城	鈴木 錠城
	田村雄一郎	坂口 譲	永渕 浩史	木村 爽	愛	石丸 隆一	潮口 正	丸山 圭二	圭二
1 I	中島 孝明	坂本 道亮	浦江 昌志	浦江 昌志	合屋 修一	浦川 強志	吉田 昭二	富安 昌彦	昌彦
	荒山 和子	新立 和洋	猿渡 和睦	猿渡 和睦	坂口 敏崇	加茂 桂司	吉田 吉康	吉田 吉康	吉康
	飯塚 宏樹	田浦 広康	芹川 祐二	芹川 祐二	原 真哉	小宮 満明	吉田 敏広	吉田 敏広	敏広
	岩形 由香	松尾 太郎	道山 久	道山 久	増田 やか	坂本 光弘	吉田 敏志	齊藤 理子	敏志
	進 昭宏	水上 秀樹	安井 光洋	安井 光洋	塙本 正彦	佐藤 靖	吉田 理子	米田 慎司	慎司
	陣内 優子	奥園 剛	上原 泰臣	上原 泰臣	橋本 誠	田口 敏崇	石丸 隆一	鈴木 勝博	勝博
	田中 智	中島 勇也	大園 真樹	大園 真樹	合屋 修一	高田 敏雄	吉田 聰	木下 聰	聰
	徳永 信隆	信維	野中 寶	野中 寶	鈴木 修一	田村 貴志	吉田 勝博	田副 勝博	勝博
	中井 裕佳	憲靖	宮島 憲靖	宮島 憲靖	鈴木 美和	原 真哉	木下 聰	木下 聰	聰
	中西 弘明	雪野 竹志	田村 憲	田村 憲	塙本 勝	増田 やか	吉田 勝博	吉田 勝博	勝博
1 E	西山 美由紀	稻岡 剛	作本 和彦	作本 和彦	坂本 道亮	塙本 正彦	吉田 勝博	林田 駿	駿
	野口みどり	大淵 健児	篠原 敏史	篠原 敏史	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	野田 和孝	大淵 正晃	稻富 謙一	稻富 謙一	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	荒山 和子	飯塚 宏樹	岩形 由香	岩形 由香	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 信一	岩形 由香	田中 康	田中 康	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	豊田 満弘	田中 康	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	田村雄一郎	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	中島 孝明	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
1 I	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿
	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	坂本 道亮	塙本 勝	吉田 勝博	林田 駿	駿

平成4年度 春期  
情報処理技術者試験合格者

学科	氏名
第1種	5 E 丸山 圭二
〃	4 E 森山 崇元
第2種	4 E 山内 康弘
〃	3 I 關 明弘
3 級	4 M 阿部 嘉浩
〃	4 M 原田 耕次
4 級	4 E 林 伸 敏
〃	3 I 堀 満
4 A	3 I 古川 浩章
4 A	3 I 清田 誠
4 C	4 I 立石 健一

#### 第23回工業英語検定試験合格者

学科	氏名
3 級	4 M 阿部 嘉浩
〃	4 M 原田 耕次
4 級	4 E 林 伸 敏
〃	3 I 堀 満
4 A	3 I 古川 浩章
4 A	3 I 清田 誠
4 C	4 I 立石 健一

## ・シリーズ・

## 中学校訪問

### 荒尾第一中学校(荒尾市)

中学校訪問シリーズとして、荒尾地区から本校への在籍者数の多い荒尾第一中学校を選び、早速校長の西村 誠先生を訪ねました。

(聞き手 山下 崴)

荒尾第一中学の概要を教えてください。

西村 荒尾地区の中学校は最初からナンバースクールとして呼ばれ、昭和22年、荒尾一中は二中、三中、四中と共に創立され、荒尾市内の中学では古い方です。荒尾五中のみが荒尾三中より分離独立した関係上、一番新しいです。現在生徒数は約850名、普通23学級、特殊1学級で24学級編成です。

# 退官された方々の近況紹介

## 高専教育についての提案

竹村 哲男（前校長）



在任中先生がたにシラバスを作ることをお願いしましたところ、立派な他高専に誇れる学生のための授業要目が出来ましたことを嬉しく思います。将来、益々充実した学生のための授業要目に発展することを願っております。

さて、高専教育はどうあるべきかは、大学と違った高専の設置基準に明らかに示されております。それは、単位の計算方法に集約されております。

すなわち、大学では学生が自習することを前提として単位の時間が設定されておりますが、高専では大学での倍の時間に設定されております。

したがって、高専では自習する時間を講義の中に含めなくてはならないことになります。少なくとも半分の時間は演習にあて、これを通じて体得をさせることが高専教育の特徴になります。低学年の高校相当の科目も含め、上の趣旨を生かして演習を重視すべきだと思います。

つぎに技術的なものですが、学生が自習するためには、授業科目が多すぎることです。なるべく授業科目を少なくする必要があります。そのためには、少数の科目を集中して勉強できるよう教育課程を工夫することです。2単位の科目なら90分授業を週2回で半年間、又は4回で4分の1年間で集中的に修得させるなどの工夫により、その期間の授業科目数を少なくすることができます。集中的な勉強は学生にとって有益なものです。

以上のこととは、在任中、先生がたにも話したいと思っていたことがあります。固定観念を捨てた新しい教育方法を模索することは、有明高専の発展のため必要なことだと思います。「高専だより」への原稿依頼を受けた機会を利用して、考えの一端を述べさせてもらいました。

## 私の近況

庵原 久夫（前機械工学科教授）



4月初旬、教官歓送迎会で先生方に最後のお別れの挨拶をしてから、まだ3か月余り月日が流れただけですが、既に遠い昔のことのような気がしています。

私は現在、北九州市JR黒崎駅近くの小高い山麓の比較的静かな通称「古屋敷」という所に住んでいます。4月中旬から鹿児島県国分市にある第一工業大学に勤務することになり、週1泊2日の日程で鹿児島に出向き、さらに週2日は福岡市にある福岡工業専門学校にも出講しています。

通勤途上、高速バスの車窓から生れ故郷の山野を眺めたり、空から有明海を眺めながら、ふと思うテーマは

私が関与している私大生、専門学校生と高専生のことです。

私は第一工大で2年生中の2クラスに「機械要素設計」を講義しており、その教授内容、方法を他のクラス分担の専任教授と統一していますが、そのやり方は実際に懇切丁寧で、初めはびっくりしましたが、専任の先生の話では高専と同一のスピードではとても学生は理解できないとのことでした。夏休み前に前期試験がありましたが、結果は予想に反し、満足のいくものではありませんでした。

また、7月中旬に、私は「空調工学」を集中講義しました。毎日8時間の3日間連続講義です。こんなことは今まで経験がないので自分の体力がもつか、最後まで学生が聴講してくれるかとの心配がありました。毎日講義した範囲の演習を行って解答を提出することにしたところ、途中で逃げだすものは一人もいた結果は上々でした。高専時代に、学生の勉学意欲をかきたてることができず、持てる能力を充分には引き出し得なかったことを残念に思った次第です。

福岡工専の学生については、基礎学力の不足があるようで、どのような指導法がベターか今後の問題です。高専と同じく20歳で社会に送り出すことが求められており、何とかしなければと思っています。

最後になりましたが、貴校のますますの発展と皆様の御健康を心より祈念いたします。（平成4年7月）

## 高専勤務の想い出

林重幸（前事務部長）



本校を最後に公務員生活を退いて、はや半年が過ぎます。

平成元年春に、畠違いの九州管区行政監察局から移って来て満3年間勤務しました。私にとって学校は、新鮮で活気に満ち、他方ちょっとおおらかなところもあって好きになりました。在職中、学生の皆さんにも係わりのあった2、3の出来ごとにふれ、事務部の活動にも理解を深めていただくことにします。

電子情報工学科棟は平成2年度に建設されましたが、私どもの作業はすでに元年度に建設予定地にあったテニスコート（4面）の移設から始まっていました。移設のことは学内では決定されていたものの、年度初めの本省説明では、きびしい意見が出て認められず、一時はどうなることかと思いました。会計課と八方手をつくし、計画をねり直し、再説明等を経て、どうにか年度内に実現したものの、当初予定した全天候型のコートが実現しなかったのは残念です。

学生の皆さんには失礼かもしれませんのが、私もそうであったように、一般の人達は高専のすばらしい実情を知りませんし、存在すら知らない人も多いと思います。このことについて部内でも協議し、もっと一般にもなじみのあるものにするよう、積極的に本校の状況をマスコミに広報することにしました。庶務・学生両課の工夫努力もあって、年間延べ60～70件の記事が無料で各紙に掲載され、学内外の皆さんの中にとまっている筈です。

平成元年度から女子学生が急増していますが、本校の場合、学生数の増加と同時併行しているため、この施設面での対応が深刻でした。この3年間はこの対応に追われつけたといえます。それでも本年度は女子寮の予算がつき、実現の見通しがついたことで、大枠は整ったように思われます。

最後に、昨年問題となった朝の西鉄通学バス時刻の変更と混雑緩和については、当初地元西鉄バスのガードは固かったのですが、主事室と事務部が一体となってデータを整え、福岡の行政監察局や運輸局を巻き込み、一応の対応をみたのは喜ばしい限りでした。

# ▶新任教職員紹介◀

新任教職員の方々を御紹介します。なお、お尋ねした内容は次のとおりです。

- ①本校に来る前、何をされていましたか。
- ②学生時代に熱中したことは何ですか。
- ③本校あるいは本校学生の印象について聞かせてください。
- ④趣味は何ですか。
- ⑤週末をどう過ごしていらっしゃいますか。
- ⑥何か一言、30文字以内でお願いいたします。



電子情報工学科教授  
環境電磁工学

石井 康太郎

- ①鹿児島高専の機械工学科で電気関係科目を担当。その前は電機メーカー勤務。
- ②謡曲。腹の底から大声を出すのは、気分転換になった。
- ③明るく伸び伸びしている点は良いが、3・4年で勉学意欲を失っている学生が見られるのは残念。
- ④美術鑑賞。読書。D I Y。
- ⑤転勤、転居、担任持命ということで、仕事と生活の基盤整備中です。
- ⑥高専入学によって技術者としての道を歩き始めた皆さん。若いときの努力が積分で効くことをお忘れなく。



共通専門(情報処理)助教授  
日本語情報処理

河村 豊実

- ①大学の計算機管理室にて、学生の計算機演習・実験の実習指導をしていました。
- ②物理学科にいました。重力や時間のことに対する興味を持ち、もっと詳しく知りたいと思っていました。
- ③女子学生が多い。女性教官が少ない。
- ④地理・歴史教科に、あちこち車で出かけること。
- ⑤映画・テレビ・ビデオ・音楽鑑賞。ドライブ・読書・車・家の掃除。
- ⑥教員としてこれまでの生活の転回点を迎えました。微力ながら高専のお役に立ちたいと思います。



電子情報工学科助手  
電磁界理論・数値解析

森 紳太朗

- ①学生です。熊本大学大学院自然科学研究科で光ファイバの伝送特性の解析をやっていました。
- ②オートバイに乗ること、美術品を見ること、絵(イラスト)を描くことです。
- ③自由で伸び伸びとして健康的。反面、けじめがなく、授業中うるさい。集中力がないような気がする。
- ④「熱中したこと」+映画を見ること。音楽(洋楽専門)を聞くことなど。
- ⑤掃除、洗濯、買い出し、音楽を聴きながら寝てしまう。オートバイに乗る時間と絵を描く時間が欲しい。
- ⑥水泳部の副顧問です。泳ぎたい人はいませんか?



一般科(英語)助手  
英語学 (Computational Stylistics)

田畠 智司

- ①短大で英語学関連科目を教えていました。
- ②駅伝、陸上競技(長距離)。(一応、英語学も、と言っておきましょう。)
- ③礼儀正しくていいと思う(そうじゃない人もいますが)。また、素朴な感じもいい。
- ④読書・音楽鑑賞。小説は Dickens や Austen、音楽は Chopin, Satie, George Winston 等が好きです。
- ⑤これといって決まった週末の過ごし方はありませんが、熊本や福岡へ出かけていくこともあります。
- ⑥どうぞよろしくお願いします。



事務部長  
須賀 敏夫

- ①大学で入試、教務、厚生補導、国際交流関係の総務業務に従事。
- ②フランス前衛劇の研究と演劇活動。
- ③恵まれた教育環境。異年令集団・男女共学から感じる有機的教育作用。美化努力・道徳感覚の欠如。
- ④音楽・演劇・美術鑑賞、スポーツ観戦、読書、家庭園芸、史蹟巡行、ドライブなど好奇心旺盛で多趣味。
- ⑤単身赴任の独善で家事一般の整理。読書、散策などで身心のリフレッシュ。グルメ・酒場探訪等で情報の収集。
- ⑥一番やさしくて、一番むつかしいことは、月日と一緒に歩くこと。



会計課長  
山本 昇

- ①大蔵省九州財務局で国有財産の監査や災害査定の立会等をしていました。
- ②けんかに負けないよう、柔道、空手に熱中した外、メンタルの法則の実証に熱を上げた記憶があります。
- ③(1)静かで環境が良い。(2)学生は大人しく、制服は地味(女子)。(3)職場は和やかとの印象を受けました。
- ④(1)園芸 (2)釣り
- ⑤(1)園芸 (2)新聞の切り抜き (3)釣り
- ⑥文部事務官としては1年生、何卒よろしくお願いいたします。



学生課長

遠藤 武士

- ①九州工業大学事務局庶務課勤務
- ②特になし
- ③同じ環境の学園に制服姿の初々しい学生と、ちょっと大人びた学生が同居しているのが奇異に感じられました。
- ④囲碁、ジョギング
- ⑤近隣の町をドライブしています。
- ⑥高専の業務は初めてで悪戦苦闘していますが、一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



会計課用度係長

平川 久男

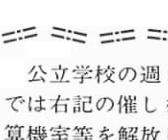
- ①九州大学工学部で、学生・教職員の勉学・教育研究のための環境づくりの仕事をしていました。
- ②部活動に伴う人間関係に恵まれたので、勉強はそっちのけで“人との交流”に日々を費やしました。
- ③伸び伸びとして明るい学生が多いと思う。その反面“アク”的強い学生が少ないように思われる。
- ④昔は魚つり、麻雀、カラオケ、映画、読書……。今は、ほんものの趣味と呼べるものを探している。
- ⑤なんとなく終ってしまっているので、目標も持たないが……。
- ⑥甘いかも知れないが、常に理想を追い求めていきたい。



会計課総務係

堀江 久仁代

- ①長崎大学附属病院の医事課の電算室で、医療事務の仕事をしていました。
- ②松山千春のコンサート、おっかけ、ラジオの深夜放送。
- ③学校の玄関までの長い坂道が、学生さんは大変そうですね。長崎を思い出します。
- ④映画、音楽鑑賞
- ⑤長崎に一人残してきた夫と、子供と動物園や遊園地に行き、つかの間の家族だんらんを楽しんでます。
- ⑥11年ぶりに故郷に帰り、故郷の良さを再確認しています。高専のみなさん、よろしくお願いします。



公立学校の週5日制スタートの年に当たり、本校では右記の催しを企画して近隣の小中学生に電子計算機室等を解放し、パソコンを自由に操作できる場を提供しました。

当時は、小中学生の皆さんのが462名参加し、大盛況でした。パソコンを存分に使って、楽しいひとときを過ごしてもらいました。



学生課(電子情報工学科)

中村 豊文

- ①公務員(多重無線設備、超短波無線設備の保守)
- ②友人と8mm映画、ビデオドラマを作っていました。
- ③明るい学生が多いと思います。
- ④子供と遊ぶこと。
- ⑤買い物、実家、友人の家、遊園地、動物園、公園のいざれかに行ってます。
- ⑥よろしくお願いします。



学生課(建築学科)

梶原 久美

- ①学生でした。学校は、北九州の読売九州理工専門学校・建築学科です。
- ②ずいぶん昔のことですが、イラストレーターになれたかったので、ヒマさえあれば絵を描いていました。
- ③高専というだけでかたい感じがしていたのですが、あまり普通なのではじめはとまどいました。
- ④趣味という程のものはありませんが、基本的におもしろいことはなんでも好きです。
- ⑤実家に帰るか友達の所か、家の草むしり。一日かけて料理をつくっているときもあります。
- ⑥自分にあった仕事につけたんじゃないかと思います。頑張りますのでよろしくお願いします。

## トピックス

9月12日土曜日休日のスタートを記念し、小中学生の皆さんに有明高専が送る

### 「好き勝手に

### パソコンを使ってみる日



## ➤ 行事予定 <

- |             |              |              |                      |
|-------------|--------------|--------------|----------------------|
| ●10月2日～8日   | 前期末試験        | ●12月24日～1月7日 | 冬季休業                 |
| ●10月9日      | 休講           | ●1月7日        | 開寮                   |
| ●10月12日     | 後期授業開始       | ●1月8日        | 授業開始<br>課題テスト(1～3年生) |
| ●10月20日     | 学生会選挙        | ●1月23日       | 寮生球技大会               |
| ●11月1日      | 入試説明会        | ●2月6日        | 寮生送別行事               |
| ●11月5日      | 小文化祭         | ●2月15日～18日   | 学年末試験(5年生)           |
| ●11月14日     | 寮祭           | ●2月21日       | 入学試験                 |
| ●11月14日～19日 | 九州地区高専ラグビー大会 | ●2月22日       | 休講                   |
| ●12月1日      | 寮生消防訓練       | ●3月1日～5日     | 学年末試験(1～4年生)         |
| ●12月4日      | 冬季球技大会       | ●3月5日        | 終業式                  |
| ●12月16日～22日 | 後期中間試験       | ●3月6日        | 閉寮                   |
| ●12月17日     | 普通高校系編入学試験   | ●3月18日       | 卒業式                  |
| ●12月23日     | 閉寮           |              |                      |



「フレッシュ!!新1年生」  
(今年の1年生から、女子の制服が変わりました。)

## 編・集・後・記

今年4月から、学校週5日制がスタートしました。全く新しい試みなので、うまく軌道にのるかどうか不安もありましたが、今のところなんとか円滑にいっているようです。

本号では、特集として、学校週5日制の問題をとり上げ、それを保護者の立場から語ってもらいました。いろいろな面から活発な意見が出て、学校としても非常に参考になりました。皆さんにも、タイムリーな企画として喜んでもらえたのではないかでしょうか。

もう少し早い発行を目指しましたが、結局9月末

になってしまいました。今、外は赤とんぼが群舞し、蟬しぐれがかまびすしいほどです。本号がお手許に届くころには、秋の虫がすだいでいることでしょう。

有明高専だより 第78号  
平成4年9月30日  
編集 有明高専だより編集委員会  
発行 有明工業高等専門学校  
〒836 大牟田市東萩尾町150  
TEL 0944-53-1011(代)